士幌町学校運営協議会【CS だより】AN　GAKU　KEN

安心・安全　深い学び　心と体の健康

2022
7

作成：士幌町教育委員会

今、なぜ CS なのか・・・

『コミュニティ･スクール（学校運営協議会制度）は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。コミュニティ･スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。』（文部科学省 HP「学校と地域でつくる学びの未来」より）

『昨今、少子高齢化や地域のつながりの減少による地域の教育力の低下や、発達障害や貧困といった福祉的な課題の増加などを背景に、学校が抱える課題が複雑化･多様化する中、学校だけではなく、社会全体で子供の育ちを支えていくことが求められています。』（同上）

『教育課程を通して、これからの時代に求められる教育を実現していくためには、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質･能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという、社会に開かれた教育課程の実現が重要となる。』（学習指導要領　前文より抜粋）

…と、ちょっと難しそうなことばが並んでいますが、**「これからの時代を生き抜く力の育成には学校だけではできない」「地方創生のためには学校を核とした地域の活性化が必要」**という、学校と地域双方のニーズから生まれた法的制度なのです。

2022 士幌町学校運営協議会第1回全体･連携会議

６月１日に今年度の第１回全体会議連携会議が総合研修センターふれあいホールで行われました。

士幌町では、こども園・士幌小・中士幌小・上居辺小・中央中・士幌高校の６つの学校(園)にそれぞれ運営協議会が設置されています。全体・連携会議では、今年度の士幌町基調テーマ「地域総がかりで子どもたちを育む」を確認した後、各 CS でグループワーク(熟議)を行い、３つの視点「安(安心・安全)」「学(深い学び)」「健(心と体の健康)」にそって、協働活動のアイディアを出し合いました。

「コロナ禍で失われた人とのつながりを、何とかできないか」「まちづくりのアイディアを子どもたちから引き出せないか」「高校の施設や生徒の活用ができないか」etc。わくわく感に満ちた熟議が行われました。

各 CS の取り組みの様子を、この CS だより「安・学・健」でお伝えしていきます。お楽しみに。（隔月発行予定です。）

子どもも地域も輝く「well-being」な CS を、みんなで創り出していきましょう。

※裏面「2022 イメージ図」掲載

2022 士幌町「学校運営協議会」イメージ図

基調テーマ

地域総がかりで子どもたちを育む

子どもが輝く ← Well-Being → 地域が輝く

活動視点

安 安心・安全

- 登下校見守り
- 防災教室
- 避難訓練
- 学校行事補助
-
- 消毒作業
- 救命救急講習
- 通学路点検
-

学 深い学び

- ○○の先生
- 職業体験
- ○○検定
- 異校種乗り入れ
-
- 自然体験学習
- 歴史探訪
- 高校生ﾐﾄﾞﾙﾃｨｰﾁｬｰ
- まちづくり

健 体と心の健康

- 学校図書館サポート
- 昔の遊び
- 装飾サポート
- 部活動補助
-
- 読み聞かせ
- 体力テストサポート
- 花壇整備
- 地域行事

ベース理念：地域とともにある学校、社会に開かれた教育課程、ふるさと教育、キャリア教育、人権教育、健康教育、環境教育、道徳教育、図書館教育、情報教育、ICT 活用、ものづくり教育、STEAM 教育、SDGs　etc

CS（コミュニティー・スクール）

士幌高校　士幌町中央中学校　士幌小　中士幌小　上居辺小　こども園

地域コーディネーター（各 CS）

統括コーディネーター

PTA

社会教育関係団体

教育NPO

大学等

民間教育事業所

文化団体

スポーツ団体

企業・経済団体

ボランティア団体

警察・消防等

地域の人材

参加から参画へ　協力から協働へ

地域学校協働活動